

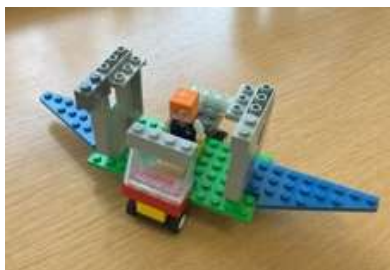
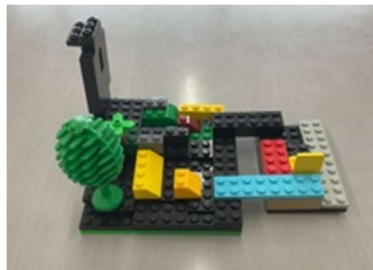
10月の院内学級

10月の院内学級の報告です。月初めは、「まだ暑い」でしたが、月末には、「もう寒い」となりました。でも病棟にいる限りは全館エアコンのおかげで、暑い寒いを感じることは全くありません。快適です。

今月の院内学級には8名の子どもたちが来てくれました。多くの子は月の後半の入院でした。先月も書きましたが、各学校での運動会が終了してからの計画入院が多かったです。



さて、今月は院内学級での学習の様子を書いてみます。子どもたちは病気やケガを抱えて入院してくるのですから、入院当初からすぐ学習とはなりません。手術はもちろん、なくても検査の連続や点滴治療で、体力的にしんどい子どもさんが多いからです。院内学級に来ることができても、気分転換のためのゲームや工作が中心です。それでも2, 3日すると、学校の学習を話す子どもさんが出てきます。最初は、学校の宿題です。やはり気になっているのでしょう。「漢ド」や「計ド」が多いようです。ほとんどは、見守るだけで済みます。そして、子どもたちを見ていると自然に「得意」や「不得意」が見えてきます。色々聞いてみて、その子に合わせた教材をこちらで準備をして一緒に学習します。「できた！わかった！うれしい！」と思ってもらうことがねらいです。1日4時間の活動のうち学習時間は、1～2時間です。そして、1週間程度の入院の子どもさんは、退院を迎えることになります。それより長期の子どもさんの場合は、学習の度合いが深まりますが、また次回お話しします。



院内学級でのレゴ作品（ほんの一部）です